

ひだまりカレッジ ホームページ掲載事項

【研修機関情報】

(法人情報)

法人名：有限会社リラ福祉サービス

所在地：横浜市戸塚区小雀町2058番地11

代表取締役 馬場 世津

取締役会長 馬場 正志

取締役 馬場 郁子

取締役 安藤 智子

取締役 馬場 大輔

取締役 松野 拓也

(研修機関情報)

事業所名称：ひだまりカレッジ

事業所所在地：横浜市戸塚区深谷町15番地2

理念 すべての人が信じあい支え合い高め合う仲間に！

学則 (添付のとおり)

研修施設、設備：ひだまり苑 こすずめ深谷 建物4階 研修会場

【研修事業情報】

(研修概要)

対象：満18歳以上で介護・福祉への就業を希望している者

研修スケジュール

期間 通学学習は14日間

日程

通学日程

日程	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名
第1日目	9:00~9:20		オリエンテーション
	9:20~10:20	1	1①多様なサービスの理解
	10:30~12:30	2	
	13:30~15:00	1.5	1②介護職の仕事内容や働く現場の理解
	15:10~16:40	1.5	
	16:50~17:50	1	2①人権と尊厳を支える介護
	17:50~18:20	0.5	2②自立に向けた介護
第2日目	9:00~10:00	1	3①介護職の役割、専門性と多職種との連携
	10:00~10:30	0.5	3②介護職の職業倫理
	10:40~11:40	1	3③介護における安全の確保とリスクマネジメント
	11:40~12:10	0.5	3④介護職の安全
	13:10~13:40	0.5	4①介護保険制度
	13:40~14:10	0.5	4②医療との連携とリハビリテーション

	14：10～14：40	0.5	4③障害福祉制度およびその他制度
	14：50～16：20	1.5	5①介護におけるコミュニケーション
	16：30～18：00	1.5	5②介護におけるチームのコミュニケーション
第3日目	9：00～10：00	1	6①老化に伴うところとからだの変化と日常
	10：10～12：10	2	6②高齢者と健康
	13：10～13：40	0.5	7①認知症を取り巻く状況
	13：40～14：40	1	7②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
	14：50～15：50	1	7③認知症に伴うところとからだの変化と日常
	16：00～16：30	0.5	7④家族への支援
	16：40～17：10	0.5	8①障害の基礎的理解
	17：10～17：40	0.5	8②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識
	17：40～18：10	0.5	8③家族の心理、かかわり支援の理解
第4日目	9：30～11：30	2	9①介護の基本的な考え方
	12：30～14：30	2	9②介護に関するところのしくみの基礎的理解
	14：40～16：40	2	9③介護に関するからだのしくみの基礎的理解
第5日目	9：30～11：00	1.5	9④生活と家事
	11：10～12：40	1.5	
	13：40～15：10	1.5	9⑤快適な住環境整備と介護
	15：20～16：50	1.5	
第6日目	9：30～11：00	1.5	9⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	11：10～12：10	1	
	13：10～14：40	1.5	
	14：50～16：20	1.5	
	16：30～18：00	1.5	
第7日目	9：30～11：00	1.5	9⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	11：10～12：10	1	
	13：10～14：40	1.5	
	14：50～16：20	1.5	
	16：30～18：00	1.5	
第8日目	9：30～11：00	1.5	9⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	11：10～12：10	1	
	13：10～14：40	1.5	
	14：50～16：20	1.5	
	16：30～18：00	1.5	

第9日目	9:30~11:00	1.5	9⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	11:10~12:10	1	
	13:10~14:40	1.5	
	14:50~16:20	1.5	
	16:30~18:00	1.5	
第10日目	9:30~11:00	1.5	9⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	11:10~12:10	1	
	13:10~14:40	1.5	
	14:50~16:20	1.5	
	16:30~18:00	1.5	
第11日目	9:30~11:00	1.5	9⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	11:10~12:40	1.5	
	13:40~15:10	1.5	9⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
	15:20~16:50	1.5	
第12日目	9:30~10:30	1	9⑬介護課程の基礎的理解
	10:40~11:40	1	
	12:40~13:40	1	
	13:50~14:50	1	
	15:00~16:00	1	
第13日目	9:30~10:30	1	9⑭総合生活支援技術演習
	10:40~11:40	1	
	12:40~13:40	1	
	13:50~14:50	1	
	15:00~16:00	1	
第14日目	10:00~12:00	2	10①振り返り
	13:00~15:00	2	10②就業への備えと研修修了後における継続的な研修
	15:30~16:30	1	修了評価試験

時間数 通学 89.5時間 通信 40.5時間

定員：集合研修 12名
指導者数 16名

研修受講までの流れ

募集開始⇒申込（郵送可）⇒受講料の支払い（振込可）⇒テキスト・レポート課題配布（郵送）⇒受講開始時に本人確認⇒受講開始

費用 66,924円（受講料+テキスト代）

(内訳)・受講料 59,800 円
・テキスト代 7,124 円

従業員・家族・法人割引費用 48,984 円 (受講料+テキスト代)

(内訳)・受講料 41,860 円
・テキスト代 7,124 円

(その他)

- ・補講 1 項目 3,000 円 (必要となった場合)
- ・修了評価試験が不合格だった場合は再修了評価試験を実施しますので再修了評価試験代 3,000 円

留意事項

(退校処分について)

学習意欲が著しく欠ける場合 (授業中に居眠りする、講義を再三にわたり中断させるなど) や、他の受講生の授業の妨げとなる行為を繰り返し、講師の指示に従えないなどの行為がある場合に、研修責任者との話し合いによっても解決しないときには退校処分とする。退校処分となった場合には受講料及びその他費用については返金しない。

特徴

少人数にてきめ細やかな指導により、資格取得をめざせます。経験豊富な講師による実践的な指導を行います。資格取得後の就業先についても当社の事業所をご案内できます。

受講者へのメッセージ

高齢者と接する機会も増え、介護も身近なものになりました。介護は誰でも簡単に出来る仕事ではありませんが、人を思いやる気持ちがあれば、「やりがい」を感じると思います。

ひだまりカレッジでは「おもいやり」を大切にして、また受講者の方にも学んで頂きたいと思います。

介護の現場では年齢はあまり影響しません、当施設では70歳以上の方も現役で働いております。

学び始めるのも、年齢は関係ありません。卒業まで当施設スタッフが全力でサポート致します。

(課程責任者)

研修コーディネーター 安藤智子

(研修カリキュラム)

科目別シラバス

1 職務の理解 (6 時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	3 時間	《講義内容》 ・介護職が働くサービス現場にどのようなものがあるか、介護保険サービス (居宅・施設) とそれ以外 (障害者 (児) サービス等) について理解する。

②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な居宅、施設サービス現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。講師による経験談の他、様々な介護現場について視聴覚教材を活用して理解を深める。 ・ケアプランからサービス開始までの一連の流れ、チームケア、多職種との連携、地域社会資源との連携等、介護サービスの提供についてイメージを持たせる。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで介護職の仕事について話し合い、学習イメージを掴む。
合計	6	

2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①人権と尊厳を支える介護	5時間	1時間	4時間	科目2 項目1 問1～ 問8	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護現場における「基本的人権」「個人の尊厳」等について理解する。 <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳、利用者のプライバシー、個人情報保護について理解。 ・ICF、QOL、ノーマライゼーション等の理解。 ・虐待、身体拘束についての理解。
②自立に向けた介護	4時間	0.5時間	3.5時間	科目2 項目2 問9～ 問14	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援と介護予防について事例を示し理解を深める。 <p>《演習》</p> <p>講義の事例をもとにグループで討議する。</p> <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援のための介護方法の理解。 ・介護保険と介護予防について制度の理解。 ・介護予防と社会的入院について理解。
合計	9	1.5	7.5		

3 介護の基本（6時間）

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	1時間	1時間	科目3 項目1 問15 ～問18	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅と施設介護サービスの違い、介護職の役割について理解し、教科書の事例を検討する。 ・介護の専門性、多職種との連携について理解する。 <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護、施設介護の特徴の理解。 ・求められる介護職員像の理解。

②介護職の職業倫理	1時間	0.5時間	0.5時間	科目3 項目2 問19 ～問22	《講義内容》 ・介護職の職業倫理を理解する。 《演習》 講師の事例を紹介し、どのように対応するべきか討議する。 《添削課題出題のポイント》 ・社会福祉士及び介護福祉士法について、定義規定、義務規定の見直しを理解する。 ・介護保険法等における介護職の役割理解。 ・日本介護福祉士会の倫理綱領について理解。
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2時間	1時間	1時間	科目3 項目3 問23 ～問26	《講義内容》 ・介護における安全確保の重要性を理解し、危険予知と事故予防の事例を検討する。 ・感染症と対策について理解を深める。 《演習》 講師の事例をもとに、グループで事故予防、リスクマネジメントについて討議する。 《添削課題出題のポイント》 ・リスクマネジメントの理解。 ・事故発生時の対応理解。 ・感染症への対応理解。
④介護職の安全	1時間	0.5時間	0.5時間	科目3 項目4 問27 ～問30	《講義内容》 ・介護職の健康管理とストレスマネジメントについて理解を深める。 《添削課題出題のポイント》 ・介護職の健康障害について理解。 ・ストレスマネジメントの重要性理解。
合計	6	3	3		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護保険制度	3時間	0.5時間	2.5時間	科目4 項目1 問31 ～問38	《講義内容》 ・介護保険制度の歴史、目的、仕組み、サービス利用までの流れを理解する。 《添削課題出題のポイント》 ・介護保険制度の歴史、目的、仕組み、サービス利用までの流れを理解する。

②医療との連携とリハビリテーション	3時間	0.5時間	2.5時間	科目4 項目2 問39 ～問46	《講義内容》 ・医療と看護、介護の役割、連携、訪問看護、リハビリテーションについて理解する。 《添削課題出題のポイント》 ・医療と介護との連携、介護職と医行為、訪問看護、リハビリテーションの意義と目的について理解する。
③障害福祉制度とその他の制度	3時間	0.5時間	2.5時間	科目4 項目3 問47 ～問54	《講義内容》 ・障害福祉制度、成年後見制度、日常生活自立支援制度等について理解する。 《演習》 ・障害福祉制度のサービスにはどのようなものがあるか、グループで討議して理解を深める。 《添削課題出題のポイント》 ・障害福祉制度の背景、構造、運営、成年後見制度、日常生活自立支援制度について理解する。
合計	9	1.5	7.5		

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①介護におけるコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	科目5 項目1 問55 ～問62	《講義内容》 ・介護現場で必要なコミュニケーションの意義、傾聴、共感などの具体的な技法、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技法を理解する。 《演習》 ・ペアになり会話の中で非言語的コミュニケーションを使い、理解を深める。 《添削課題出題のポイント》 ・言語的、非言語的コミュニケーション、傾聴、受容、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションについて理解する。

②介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	1.5時間	1.5時間	科目5 項目2 問63 ～問70	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における観察・記録の重要性、チーム内での情報の共有化、個別援助計画書、ヒヤリハット報告、ケアカンファレンスの重要性を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録による情報の共有化が役立つ実例を紹介しグループで討議する。 <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録による情報の共有化、報告、連絡、相談、観察、記録に関わる法令、コミュニケーションを促す環境について理解する。
合計	6	3	3		

6 老化の理解（6時間）

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①老化に伴うところとからだの変化と日常	2時間	1時間	1時間	科目6 項目1 問71 ～問74	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う心身機能の変化について事例を紹介して理解を深める。 <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年期の心身の変化を理解する。
②高齢者と健康	4時間	2時間	2時間	科目6 項目2 問75 ～問78	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疾病について事例を紹介して、原因、ケアの方法を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の実例をもとにグループでケアの方法を討議して理解を深める。 <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疾病について代表的なものを理解する。
合計	6	3	3		

7 認知症の理解（6時間）

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①認知症を取り巻く状況	1時間	0.5時間	0.5時間	科目7 項目1 問79 ～問81	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーソンセンタードケアについて説明し、認知症の理解を深める。 <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念を理解する。

②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	1時間	1時間	科目7 項目2 問82 ～問86	《講義内容》 ・認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアの方法、健康管理の方法、治療方法の理解を深める。 《添削課題出題のポイント》 ・認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアの方法、健康管理の方法、治療方法の理解を深める。
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2時間	1時間	1時間	科目7 項目3 問87 ～問90	《講義内容》 ・認知症の中核症状、周辺症状、利用者への対応方法について理解を深める。 《演習》 ・認知症症状について教科書の事例をもとにグループで討議して理解を深める。 《添削課題出題のポイント》 ・認知症の中核症状、周辺症状、利用者への対応方法について理解を深める。
④家族への支援	1時間	0.5時間	0.5時間	科目7 項目4 問91 ～問94	《講義内容》 ・認知症と家族の関わり方について事例を紹介して理解を深める。 《添削課題出題のポイント》 ・認知症受容過程での援助、レスパイトケアについて理解を深める。
合計	6	3	3		

8 障害の理解（3時間）

項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
①障害の基礎的理解	1時間	0.5時間	0.5時間	科目8 項目1 問95 ～問96	《講義内容》 ・障害者福祉の基本理念、歴史を理解する。 《演習》 ・障害について知っている知識をグループで討議して、全体で発表する。 《添削課題出題のポイント》 ・障害について、基本的な用語を理解する。
②障害の医学的側面の基礎的知識	1時間	0.5時間	0.5時間	科目8 項目2 問97 ～問103	《講義内容》 ・身体、知的、精神障害の代表的なものを教科書から紹介する。 《添削課題出題のポイント》 ・障害の基礎的知識を理解する。
③家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	0.5時間	0.5時間	科目8 項目3 問104 ～問106	《講義内容》 ・障害者家族の心理を理解する。 《添削課題出題のポイント》 ・介護する家族の心理を理解する。
	3	1.5	1.5		

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）

基本知識の学習	項目名	時間数	通学時間数	通信時間数	添削課題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
基本知識の学習	①基礎知識の学習（介護の基本的な考え方）	4時間	2時間	2時間	科目9 項目1 問107～問114	《講義内容》 ・ICFに基づく介護、法的根拠に基づいた介護について、視聴覚教材を活用して理解を深める。 《演習》 ・介護者に求められる人物像をグループで討議して、全体で発表する。 《添削課題出題のポイント》 ・介護の基本的な考え方、法的根拠に基づいた介護を理解する。
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4時間	2時間	2時間	科目9 項目2 問115～問122	《講義内容》 ・介護の実践に必要な人間のこころのしくみの基礎的理解、感情や意欲、生きがい、こころとからだの密接な関係性を理解する。 《添削課題出題のポイント》 ・記憶、自己概念、基本的欲求について理解する。
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4時間	2時間	2時間	科目9 項目3 問123～問130	《講義内容》 ・体のしくみの基礎を理解する。 《演習》 ・健康チェック、バイタルサインの取り方を実践して理解を深める。 《添削課題出題のポイント》 ・健康チェック、人体各部の理解。
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	6時間	3時間	3時間	科目9 項目4 問131～問134	《講義内容》 ・身体介護、家事援助、生活援助の相違を理解する。 《演習》 ・生活と支援技術について視聴覚教材を使い理解を深め、どんなサービスがあるかグループで話し合う。 ・講師が事例を設定して、家事サービスの内容をグループで検討する。 《添削課題出題ポイント》 ・家事援助、生活支援の理解。

⑤快適な居住環境整備と介護	6時間	3時間	3時間	科目9 項目5 問13 5～問 138	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者に必要な住まいの性能、住宅改修、福祉用具について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に福祉用具に触れて、体験して種類や性能を理解する。 <p>《添削課題出題のポイント》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者特有の住宅環境、住宅改修、福祉用具について理解。
⑥整容に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	7時間	0時間		<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱、身支度、整容、洗面の方法について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱、身支度、整容、洗面について模範演技の後、ペアになって反復練習を行い、習得度確認を行う。
⑦移動に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	7時間	0時間		<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動、移乗に関する知識、安全安楽な姿勢保持の方法、ボディメカニクスの実践方法、車いすの操作方法、車いすへの移乗方法、杖歩行の支援、歩行補助具の使用方法などについて理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態（半身マヒ等）を設定して、車いすの移乗、ベッド上での体位交換、移動用具、ボディメカニクスの応用について模範演技の後、ペアになって反復練習を行い、習得度確認を行う。
⑧食事に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	7時間	0時間		<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事や水分摂取の仕組みを理解し食事の危険性や食事を摂ることの重要性、口腔ケアの必要性について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態（半身マヒ等）を設定して、食事介助、口腔ケアの方法について模範演技の後、ペアになって反復練習を行い、習得度確認を行う。 ・介護食材、トロミ材を使用して、試食を行う。

<p>⑨入浴と清潔保持に関する ところとからだのしくみと 自立に向けた介護</p>	<p>7 時間</p>	<p>7 時間</p>	<p>0 時間</p>	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴の介護方法、清潔保持の目的、手浴、足浴、洗髪、陰部洗浄、清拭方法等について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に必要な入浴用具、整容用具を紹介する。 ・浴槽と補助具を準備して入浴介助の手順、安全確認、福祉用具の使用方法、利用者への接し方、全身清拭、手浴、足浴についてペアになって反復練習を行う。 ・ケリーパットを作り、受講生をモデルにして実際に洗髪する。
<p>⑩排泄に関するところと からだのしくみと自立に向け た介護</p>	<p>7 時間</p>	<p>7 時間</p>	<p>0 時間</p>	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむつ交換など排泄介護の方法、ポータブルトイレなど排泄用具の使用方法、プライバシーや心理的負担への配慮、尊厳の保持、トイレ介助などについて理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄環境整備の方法、排泄用具を紹介する。 ・ベッドからポータブルトイレへの移乗方法、ポータブルトイレの使用方法、ベッド上でのおむつ交換、差し込み便器、尿器の使用方法、陰部洗浄の方法について模範演技の後、ペアになって反復練習を行い、習得度確認を行う。
<p>⑪睡眠に関するところと からだのしくみと自立に向け た介護</p>	<p>3 時間</p>	<p>3 時間</p>	<p>0 時間</p>	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の知識、安眠のための環境整備、ベッドメイキング、褥瘡予防について理解を深める。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング、快適な睡眠環境の作り方、睡眠用具の使い方、活用方法を解説する。 ・ベッドマット、枕、クッション、ベッド柵の使用方法を理解し、褥瘡予防、体位変換の方法について模範演技の後、ペアになって反復練習を行い、習得度確認を行う。

	⑫死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護	3時間	3時間	0時間	《講義内容》 ・終末期ケアに向けての利用者、家族の心理の動きや介護職としての視点と役割を理解する。 《演習》 ・終末期ケアについて講師の事例を踏まえて、多職種との連携をグループで検討する。
生活支援技術演習	⑬介護過程の基礎的理解	5時間	《講義内容》 ・様々な介護事例を通して介護の目的、計画に沿ったサービス提供の重要性、具体的な展開方法、チームアプローチについて理解する。 《演習》 ・具体的な事例を通して介護過程の流れ、専門性を理解する。 ・総合生活支援技術演習の実施方法をオリエンテーションする。		
	⑭総合生活支援技術	5時間	《講義内容》 ・利用者の具体的な事例を課題として、学習した介護技術を実践的に学ぶ。事例は2つ用意し、グループごとに課題に取り組み、介護計画の立案、実技を通して介護手順の習得と技術習得レベルの確認、介護後の見直しと今後の取り組みに向けた検討を行う。 《演習》 ・別紙「総合生活支援技術演習計画書」の通り。		
実習					
合計		75			
10 振り返り（4時間）					
項目名		時間数	講義内容及び演習の実施方法		
①振り返り		2時間	《講義内容》 ・研修を通じて学んだことを振り返り、チェックシートを参考に、できた部分と出来なかった部分を話し合う。 《演習》 ・話し合った内容を全体で発表する。		
②就業への備えと研修終了後における継続的な研修		2時間	《講義内容》 ・今後継続して学ぶべきことや職場環境への早期適応できるよう、課題を話し合う。 ・介護現場の体験談や仕事内容の実例を紹介する。		
合計		4			
全カリキュラム合計時間		130時間			

(科目別担当講師名)

1 職務の理解 ①多様なサービスの理解	馬場世津
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	松野拓也
	安藤智子
1 職務の理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	馬場世津
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	松野拓也
	安藤智子
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護	小野史恵
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	松野拓也
	安藤智子
2 介護における尊厳の保持・自立支援 ②自立に向けた介護	小野史恵
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	松野拓也
	安藤智子

3 介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携	杉江成子
	来栖美恵子
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	安藤智子
3 介護の基本 ②介護職の職業倫理	杉江成子
	来栖美恵子
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	安藤智子
3 介護の基本 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント	杉江成子
	来栖美恵子
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	安藤智子
3 介護の基本 ④介護職の安全	杉江成子
	西野恵美
	郡司敏幸
	谷口陽亮
	安藤智子
	郡司敏幸

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度	佐伯江美
	来栖美恵子
	仲丸弥生
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ②医療との連携とリハビリテーション	郡司敏幸
	佐伯江美
	来栖美恵子
	仲丸弥生
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ③障害福祉制度およびその他制度	郡司敏幸
	来栖美恵子
	仲丸弥生
	杉江成子
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション	稲葉幸子
	杉江成子
	谷口陽亮
	西野恵美
	安藤智子
5 介護におけるコミュニケーション技術 ②介護におけるチームのコミュニケーション	稲葉幸子
	西野恵美
	谷口陽亮
	杉江成子
	安藤智子

6 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常	西野恵美
	稲葉幸子
	谷口陽亮
	杉江成子
	安藤智子
6 老化の理解 ②高齢者と健康	西野恵美
	稲葉幸子
	谷口陽亮
	杉江成子
	安藤智子
7 認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況	関靖子
	小野史恵
	杉江成子
	三牧紀恵子
	郡司敏幸
	安藤智子
7 認知症の理解 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	関靖子
	小野史恵
	杉江成子
	三牧紀恵子
	郡司敏幸

	安藤智子
7 認知症の理解 ③認知症に伴うこころとかただの変化と日常	関靖子
	小野史恵
	杉江成子
	三牧紀恵子
	郡司敏幸
	安藤智子
7 認知症の理解 ④家族への支援	関靖子
	小野史恵
	杉江成子
	三牧紀恵子
	郡司敏幸
	安藤智子
8 障害の理解 ①障害の基礎的理解	大島恵子
	松野拓也
8 障害の理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	大島恵子
	松野拓也
8 障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解	大島恵子
	松野拓也
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ①介護の基本的な考え方	谷口陽亮
	西野恵美

	来栖美恵子
	杉江成子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ②介護に関するころのしくみの基礎的理解	稲葉幸子
	西野恵美
	来栖美恵子
	杉江成子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	稲葉幸子
	西野恵美
	来栖美恵子
	杉江成子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ④生活と家事	三牧紀恵子
	関靖子
	大島恵子
	安藤智子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ⑤快適な住環境整備と介護	谷口陽亮
	来栖美恵子
	松野拓也
	安藤智子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ⑥整容に関連したころとからだのしくみと自立 に向けた介護	西野恵美
	関靖子
	二宮文子

	稲葉幸子
	安藤智子
<p>9 ころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>⑦移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	二宮文子
	西野恵美
	関靖子
	稲葉幸子
	安藤智子
<p>9 ころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>⑧食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	稲葉幸子
	二宮文子
	西野恵美
	関靖子
	安藤智子
<p>9 ころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>⑨入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	関靖子
	二宮文子
	西野恵美
	稲葉幸子
	安藤智子
<p>9 ころとからだのしくみと生活支援技術</p> <p>⑩排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	二宮文子
	稲葉幸子
	西野恵美
	関靖子

	安藤智子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ⑪睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	西野恵美
	二宮文子
	稲葉幸子
	関靖子
	安藤智子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ⑫死にゆく人に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	二宮文子
	安藤智子
	稲葉幸子
	小野史恵
	関靖子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ⑬介護課程の基礎的理解	杉江成子
	来栖美恵子
	松野拓也
	安藤智子
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 ⑭総合生活支援技術演習 実習	安藤智子
	松野拓也
	谷口陽亮
	杉江成子
10 振り返り ①振り返り	松野拓也
	杉江成子

	谷口陽亮
	安藤智子
10 振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	松野拓也
	谷口陽亮
	杉江成子
	安藤智子

(通信過程の教材)

長寿社会開発センター作成問題、当社作成問題

(通信過程の指導体制)

質問にはメール、FAX、郵便にて受付

担当講師より回答をする

(修了評価の方法)

学則による

【講師情報】

氏名	馬場 世津
略歴	H14年10月 有限会社リラ福祉サービス設立 介護支援専門員取得
現職	有限会社リラ福祉サービス 代表取締役
資格	介護支援専門員・管理栄養士・介護職員実務者研修修了

氏名	安藤 智子
略歴	H20年4月より有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	有限会社リラ福祉サービス 取締役 グループホーム介護支援専門員
資格	介護福祉士 介護支援専門員 実務者研修教員講習会修了

氏名	松野 拓也
略歴	H25年2月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	居宅介護支援センターこすずめの里 介護支援専門員
資格	介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員

氏名	仲丸 弥生
略歴	H18年11月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	グループホーム こすずめの里 看護師

資格	看護師・介護支援専門員
----	-------------

氏名	郡司 敏幸
略歴	R2年3月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	訪問看護ステーションこすずめの里 管理者 看護師
資格	看護師・介護福祉士・介護支援専門員

氏名	佐伯 江美
略歴	H29年6月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	訪問看護ステーションこすずめの里 看護師
資格	看護師

氏名	二宮 文子
略歴	H20年6月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	グループホーム こすずめの里 介護職員
資格	介護福祉士

氏名	大島 恵子
略歴	H19年10月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	訪問介護センターこすずめの里 管理者・サービス提供責任者
資格	介護福祉士

氏名	三牧 紀恵子
略歴	H20年7月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	グループホーム こすずめの里 介護支援専門員
資格	介護福祉士 介護支援専門員

氏名	小野 史恵
略歴	H20年10月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	グループホーム こすずめの里 管理者
資格	介護福祉士

氏名	稲葉 幸子
略歴	H24年10月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	訪問介護センターこすずめの里・サ高住こすずめ深谷相談員 管理者
資格	介護福祉士

氏名	杉江 成子
略歴	H25年2月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	小規模多機能居宅介護こすずめの里

資格	介護福祉士 介護支援専門員
----	---------------

氏名	来栖 美恵子
略歴	H26年1月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	居宅介護支援センターこすずめの里 管理者 介護支援専門員
資格	介護福祉士 介護支援専門員

氏名	谷口 陽亮
略歴	H30年8月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	訪問介護センターこすずめの里・福祉用具こすずめの里福祉用具相談員
資格	介護福祉士

氏名	西野 恵美
略歴	H24年11月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	訪問介護センターこすずめの里・サ高住こすずめ深谷相談員
資格	介護福祉士

氏名	関 靖子
略歴	H19年6月 有限会社リラ福祉サービスに勤務
現職	グループホーム こすずめの里 介護職員
資格	介護福祉士

【実績情報】

過去の研修実績回数	平成26年度	2回	介護職員初任者研修	13名
	平成27年度	2回	介護職員初任者研修	13名
	平成28年度	1回	介護職員初任者研修	8名
	平成29年度	1回	介護職員初任者研修	6名
	平成30年度	1回	介護職員初任者研修	4名
	平成31年度	1回	介護職員初任者研修	5名
	令和2年度		開講無し	
	令和3年度	1回	介護職員初任者研修	5名
	令和4年度		開講無し	
	令和5年度		開講無し	

過去の研修延べ参加人数 54名

【連絡先】

申込・資料送付先

法人の苦情対応者 代表取締役 馬場 世津 連絡先 045 - 852 - 0362

事業所の苦情対応者 研修コーディネーター 安藤智子 連絡先 045 - 852 - 0362

学 則

1 事業者の名称及び所在地	有限会社リラ福祉サービス 〒244-0004 横浜市戸塚区小雀町2058番地11
2 研修事業の名称	ひだまりカレッジ 介護職員初任者研修通信コース
3 研修課程及び形式	介護職員初任者研修課程 (通学 ・ <u>通信</u>)
4 開講の目的	<p>1 高齢化社会の実情を鑑み、介護員は現在慢性的な人材不足となっており、社会的な要請があることから、当社において初任者研修課程及び当社職員の資質向上も踏まえて、介護職員実務者研修を実施し、介護員の養成に尽力していく所存である。</p> <p>2 介護員の養成において適切な研修場所が必要だと考える。当社において様々な介護事業を展開していることから、実習を受ける場所の提供ができるため養成事業において活用できる。</p> <p>3 当社においては介護福祉士を取得済みの職員も多く、研修講師としても活躍できる場を提供する。</p> <p>4 教室についても、「サービス付高齢者向け住宅」の建物を当社において取得し、その4階の一部を当事業部において使用することが可能な状況である。</p> <p>5 近隣に介護員養成研修所がなく、地域住民の資格取得希望にも沿えるものとする。</p>
5 研修責任者及び研修コーディネーターの氏名 研修担当部署 研修担当者及び連絡先	研修責任者：馬場 世津 研修コーディネーター：安藤 智子 研修担当部署：ひだまりカレッジ研修係 研修担当者 松野 拓也 連絡先 045-852-0362
6 受講対象者(受講資格)及び定員	受講対象者：満18歳以上で介護・福祉の仕事への就業を希望している者 受講資格：本人確認資料を提出できる方 定員：12名
7 募集方法（募集開始時期・受講決定方法を含む） 受講手続及び本人確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集方法は新聞折込チラシ、地域情報誌等において行う。 ・ 募集開始時期は概ね研修開始30日前とする。 ・ 受講希望者に受講案内（学則含む）と受講申込書を送付。 ・ 受講申込書の提出（郵送可）により手続きを行う。 ・ 研修初日に本人確認資料（運転免許証・健康保険証など神奈川県介護職員初任者研修事業における「受講者の本人確認について」に沿った公的機関発行の証明書等）の原本確認を行い、写しを保管する。 ・ 受講料・テキスト代の支払いを確約された者について受講を開始とする。
8 受講料、テキスト代 その他必要な費用	66,924円（受講料+テキスト代） （内訳）・受講料 59,800円 ・テキスト代 7,124円

	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補講1項目 3,000円(必要となった場合) ・修了評価試験が不合格だった場合は再修了評価試験を実施しますので再修了評価試験代 3,000円
9 研修カリキュラム	別添様式4-1のとおり
10 通信形式の場合 その実施方法 ・添削指導及び面接指導の実施方法 ・評価方法及び認定基準 ・自宅学習中の質疑等への対応方法	<p>申込み後開校日までに通信添削課題を配布し、各回ごとの答案用紙を設定された期限までに提出する。</p> <p>添削指導は添削担当講師が行い、課題の答案に押印の上、返却する。また答案には解答解説を配布することで理解の促進を図る。</p> <p>面接指導は通学学習時間内に、通信課題の解説や質疑応答を行い、通信学習した内容の展開を図る演習を行う。</p> <p>評価方法は添削担当講師により100%を満点評価としてA=90%以上、B=80~89%、C=70~79%、D=70%未満とし、C以上を評価基準を満たしたと判断する。基準を満たさない受講生については、基準を上回るように個別指導を行う。</p> <p>自宅学習中の質疑等については、受講生よりFAX、インターネットメールにおいて質問を受け付け、添削担当講師により回答をする。</p>
11 研修会場 (名称及び所在地)	<p>ひだまりカレッジ</p> <p>横浜市戸塚区深谷町15番地2</p>
12 使用テキスト (副教材も含む)	<p>(財)長寿社会開発センター発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修テキスト
13 研修修了の認定方法 (習得度評価方法含む)	<p>研修の修了は以下の1~5をすべて満たしていることをもって、研修責任者が判断し、修了証明書を発行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 面接授業をすべて受講していること。欠席がある項目については補講により受講をしていること。 2 通信添削課題をすべて提出し、評価基準を満たしていること。 3 習得度評価について、評価基準を満たしていること。 4 修了評価筆記試験において、評価基準を満たしていること。 5 受講料・テキスト代に未納がないこと。 <p>3 習得度評価について</p> <p>「こころとからだのしくみと生活支援技術」においては</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑭総合生活支援技術 <p>上記7項目については、学校が作成した「介護技術チェックシート」を使用し担当講師が演習の中で技術の習得度を評価する。</p> <p>「習得度評価チェックリスト」の得点表において、A：基本的な介護(介助)が的確にできる、B：基本的な介護(介助)が概ねできる、C技術が不十分、D：全くできないと評価する。A及びBの者を一定のレベルに達している者とし、C及びDの者については、補講(3,000円)を行い、到達目標に達するまで指導を行い、再評価をする。</p> <p>4 修了評価筆記試験について</p>

	<p>すべての面接授業、演習の終了後に1時間行う。</p> <p>遅刻は試験開始時間後5分まで認める。試験開始後、50分を経過するまでは途中退席を認めない。50分経過後は退席を認めるが、再入室を認めない。</p> <p>評価は100点を満点評価とし、70点以上を合格とする。69点以下の場合は、再試験を行い、合格するまで実施する。希望がある場合には補講（3,000円）を行う。</p>
14 欠席者の取り扱い(遅刻・早退の扱い含む) 補講の取り扱い (実施方法及び費用等)	<p>理由の如何にかかわらず、5分以上の遅刻・早退は欠席とする。</p> <p>研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、補講を行う。</p> <p>補講の実施は原則として当社において実施する同カリキュラムのコースの同じ授業を振替受講とする。ただし、当社において別に補講を開催することが可能な場合は指定日について受講可能とする。</p> <p>補講は1項目3,000円を受講者負担とする。</p>
15 科目免除の取り扱いとその手続き方法	科目免除の取り扱いなし。
16 解約条件及び返金の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・受講の申込より開講日まではいつでも解約できる。この場合はすでに払い込まれている受講料については返金する。 ・開校日以降の解約の場合は、特段の事情が無ければ返金しない。 ・テキスト代については、未使用の場合にのみ返還により返金をする。
17 情報開示の方法 (ホームページアドレス等)	https://kosuzumenosato.com/facility/hidamaricollege.html
18 受講者の個人情報の取り扱い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法令の遵守 有限会社リラ福祉サービス ひだまりカレッジ（以下ひだまりカレッジという）は、事業の遂行において個人情報を取り扱う場合、個人情報の保護に関する個人情報保護法等の法令を遵守します。 2. 利用目的の特定 ひだまりカレッジは、個人情報を介護職員研修事業の目的のみに利用し、受講者本人の同意がある場合または法令の定める場合を除き、目的外の利用をしません。 3. 適切な取得 ひだまりカレッジは、個人情報を法令等にもとづき適正に取得します。 4. 安全管理措置 ひだまりカレッジは、その取り扱う個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために、従業員の監督、委託先の監督、不正アクセス対策等の措置を講じます。 5. 第三者への提供 ひだまりカレッジは、受講者本人の同意がある場合または法令の定める場合を除き、個人情報を第三者に提供しません。ただし、

	<p>修了者名簿は介護保険法施行令第3条第2項代2号イの規程により神奈川県へ提出を致します。</p> <p>6. 苦情の申し出・問い合わせ先 ひだまりカレッジが管理している個人情報の取り扱いについて苦情や問い合わせがあった場合、個人情報保護法令及び有限会社リラ福祉サービスが定める規程にしたがって、適切かつ迅速に対応します。</p>
19 修了証明書を亡失・ き損した場合の取扱い	<p>修了証明書の再発行について 修了者名簿により修了者であることの確認を行い、本人確認を受講申込時と同様の方法により行い、発行済みの修了証明書と同一様式にて再発行をする。この場合には修了年月日の他に、再発行年月日を併記する。 再発行年月日はひだまりカレッジ保管の修了者名簿にも記載をする。 き損の場合には、発行済みの修了証明書と引き換えとする。 氏名の変更による再発行は行わない。 再発行手数料 2,000 円</p>
20 その他研修実施に係る 留意事項	<p>退校処分について 学習意欲が著しく欠ける場合（授業中に居眠りする、講義を再三にわたり中断させるなど）や、他の受講生の授業の妨げとなる行為を繰り返す、講師の指示に従えないなどの行為がある場合に、研修責任者との話し合いによっても解決しないときには退校処分とする。退校処分となった場合には受講料及びその他費用については返金しない。</p>

以上